キャラクター名	プレイヤー名
伊集院北斗	

ポジション	ジャンク	**享年**	20
メインクラス	ステーシー	**暗示**	8：反転
サブクラス	ステーシー	**寵愛点**	22

初期配置	煉獄
最大行動値	9

能力値	**クラス**	**修正**	**合計**
武装	2	0	2
変異	2	1	3
改造	0	0	0

記憶のカケラ	内容
01：青い空	空は鮮やかに青かった。今見える空はどろりと濁った鉛色だけど。鮮やかな青い、抜けるような空をあなたは知っている。それはかつて当たり前のものだった。もうあの青い空は見ることができないのだろうか。
30：日常	退屈だけどあたたかくて、代わり映えしないけれど幸せな日常。そんな日々がきっといつまでも続くと信じていたのだけれど……気がつけばこんな体で、こんな世界で……何があったのだろう。
32：謝罪	大切な人を傷つけてしまった。謝らなくてはいけないのに。まだ一言も謝っていないのに。気が付けば死んでいて、死になが生きている。あの人はきっといるはず。あの人に謝らなくては。謝らなくては。
女の子には、優しく	当たり前、紳士淑女であるべし。かくあるべし。この時点、この時間、鏡像関係にあるべし。その瞬間、その時間、それ以前、それ以後、その瞬間、あるいは時間、あるいは時空一定にかつ、それで、「わたくし達」、それ以外にはかかわりあいがない、と言えるかどうか、それでも、「わたくし達」、と言えるかどうか、それでも、「わたくし達」、と言えるかどうか、それでも、「わたくし達」